

第22回
鹿児島県地域年金事業運営調整会議

【資料2】

令和6年7月12日



日本年金機構

Japan Pension Service

目次

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 1. 地域年金展開事業の概要 | 1～3 |
| 2. 令和5年度事業実施結果報告（令和5年4月～令和6年3月） | 4～24 |
| 3. 令和6年度事業計画 | 25～31 |

1. 地域年金展開事業の概要

日本年金機構 / 情報の提供側

本部 広報室

・各事業部で策定した広報計画を取りまとめ、全体の広報実施計画を策定、進捗管理

本部 各事業部

・各事業部において、年度の取組計画及び広報計画の策定、実施

連携

連携・共有

連携・共有

相談・サービス推進部 情報提供推進G

・各事業部及び広報室との連携・共有、情報の確認
・関係機関との連携・共有、効果的な情報提供
・地域代表年金事務所との連携、連絡調整の依頼
・年金事務所への情報の提供、取組の指示発信
・年金委員への情報の提供、活動の協力依頼

連携・報告

地域代表年金事務所

・本部との連携、連絡調整
・年金事務所への助言、取組状況の把握、報告

情報提供 相談
取組指示 報告

連携・報告

年金事務所

・地域年金展開事業の実施
・年金委員、地域年金推進員への研修、情報提供、活動の要請

年金委員

連携・共有

連携・共有する機関

厚生労働省 ⑤

・年金局
・職業安定局
・保険局
・社会・援護局
・地方厚生(支)局

各事業部の取組

- ・未適用事業所にかかる取組
- ・被保険者の適用にかかる調査
- ・納付督促、免除勧奨にかかる取組
- ・年金給付にかかる取組
- ：
- 等

各事業の策定

地域年金展開事業

～公的年金制度の周知～

- ① ポスター、チラシ、リーフレット等の配布
- ② 年金制度説明会の実施
- ③ 年金セミナーの実施
- ④ 出張年金相談
- ⑤ 地域年金事業運営調整会議
- ⑥ 「ねんきん月間」、「年金の日」における各種取組
- ⑦ 「わたしと年金」エッセイ

地域年金展開事業の策定

協力・連携

地域のネットワーク / 協力・連携する機関

地域 ⑤

・地域のコミュニティ(自治会・町内会)
・地元企業
・教育機関(大学・高校・専門学校)
・商業施設・商工会
・地方自治体

関係機関/団体 ⑤

・全国年金受給者団体連合会
・全国社会保険協会連合会
・全国社会保険委員会連合会
・社会保険労務士会
・社会福祉協議会
・全国健康保険協会/各健康保険組合
・国民年金基金

情報の受手側

学生

取組：①③⑥⑦

国民年金の被保険者

取組：①②③
④⑥⑦

厚生年金保険の被保険者

取組：①②④
⑥⑦

事業主

取組：①②④
⑥⑦

年金受給者

取組：①②④
⑥⑦

各事業の実施

年金制度の周知・啓発

地域年金展開事業の主な取り組み

- 公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納率の向上等のため、関係機関との連携協力のもと、「年金制度説明会」や「年金セミナー」「出張年金相談」等を実施します。
- また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる「地域年金事業運営調整会議」を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

地域連携事業

- 職員が自治体や民間企業、関係機関、関係団体等に対し、対面またはオンラインにより、事務担当者や従業員・所属員・加入員向けの年金制度説明会を実施。
- 市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ、年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配布の依頼等。

年金セミナー事業

- 年金事務所職員が中学校、高校、大学、専門学校等に対し、オンラインまたは対面により、生徒・学生向けの年金セミナーを実施。もしくは年金セミナー用動画（DVD）を配付。
- 大学での年金相談、学生納付特例制度の申請窓口の開設、パンフレットの設置、配布の依頼等。

地域相談事業

- 年金事務所から遠方の地域住民の利便性やニーズに合わせるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。

年金委員 活動支援事業

- 年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシなど活動に役立つ情報を提供。

地域年金事業 運営調整会議

- 公的年金制度の普及・啓発などの検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関の職員などを委員として都道府県単位で設置。

2. 令和5年度事業実施結果報告

(令和5年4月～令和6年3月)

○地域連携事業

計画

実績

総括および課題

- ① 市町村や官公庁に対し、窓口での年金制度に関するポスターの掲示およびリーフレットの設置等を依頼し、地域住民への情報提供の充実を図る。
- ② 市町村広報誌等を活用し、年金制度や出張相談にかかる周知を行う。
- ③ 市町村職員への研修、説明会を定期的実施する。

- ① 市町村や官公庁に対し、年金相談の予約に関するポスターの掲示およびリーフレットの設置等を依頼し、地域住民への周知広報を実施した。
また、市町村や年金委員に日本年金機構アニュアルレポートを送付し、事業運営の状況や目標の達成状況について情報提供を行った。
- ② 市町村広報誌へ出張相談の日程などの年金に関する記事を提供し、地域住民への広報を行った。
- ③ 市町村職員への研修を以下のとおり実施した。



市町村・官公庁

事務所	実施月	対象市町村	参加者数	開催方法
鹿児島南	令和5年6月	指宿市、枕崎市、南さつま市、南九州市	8	対面
	令和5年8月	指宿市	10	対面
	令和5年11月	南さつま市	6	対面
	令和5年12月	南九州市	6	対面
	令和6年1月	指宿市	8	対面
鹿児島北	令和5年6月	鹿児島市（本庁、谷山支所、吉野支所、喜入支所、郡山支所、桜島支所、吉田支所、松元支所）、日置市（本庁、東市来支所、日吉支所、吹上支所）、西之表市、中種子町、南種子町、屋久島町、三島村、十島村	18	対面
	令和5年11月	鹿児島市（松元支所、喜入支所、伊敷支所、吉田支所、吉野支所、桜島支所）、日置市（本庁、吹上支所、日吉支所）、西之表市	10	対面
	令和5年12月	鹿児島市（本庁、喜入支所、谷山支所、伊敷支所）、日置市吹上支所、中種子町、屋久島町、三島村、十島村	9	対面
川内	令和5年6月	薩摩川内市、いちき串木野市、出水市、阿久根市、さつま市、長島町	10	対面
	令和5年10月	長島町	1	対面
	令和5年11月	薩摩川内市、いちき串木野市、出水市	5	対面

計画

実績

総括および課題

市町村・官公庁

事務所	実施月	対象市町村	参加者数	開催方法
加治木	令和5年6月	霧島市、始良市、伊佐市、湧水町	8	対面
	令和5年11月	伊佐市、始良市	4	対面
	令和5年12月	霧島市、始良市、湧水町	5	対面
鹿屋	令和5年6月	鹿屋市	6	対面
	令和5年7月	垂水市、曾於市、志布志市、南大隅町、肝付町、東串良町、錦江町	15	対面
	令和5年10月	大崎町	2	対面
	令和6年1月	鹿屋市、垂水市、曾於市、志布志市、南大隅町、肝付町、東串良町、錦江町、大崎町	18	対面
奄美大島	令和5年5月	奄美市、大和村、宇検村、徳之島町、天城町、和泊町	10	対面
	令和5年6月	奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、竜郷町、喜界町、徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町、与論町	20	対面
	令和5年11月	奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、喜界町、徳之島町、和泊町、知名町	8	対面
	令和5年12月	奄美市、伊仙町、与論町、天城町	4	対面
合計		43市町村	191	

- 市町村の担当者が、日頃の業務の中で難しいと感じていること、疑問に思っていることが少しでも解決できるよう、実践的な研修となるよう努める。
- 国民年金の適用・収納については、市町村との緊密な連携が不可欠であるため、早い時期での研修会や意見交換の充実をさらに進めていく必要がある。

計画

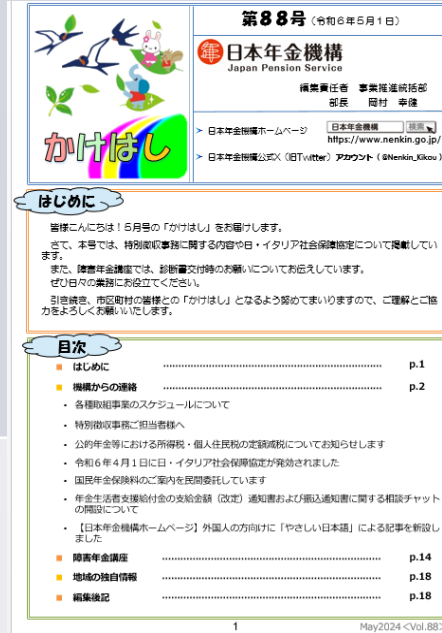
実績

総括および課題

市町村・官公庁

④ 市町村担当職員向け情報誌を定期的に発行し、制度改正や事務処理上の留意点について情報提供を行う。

④ 市町村担当者向け情報誌「かけはし」を定期的に発行し、制度改正や事務処理上の留意点について、タイムリーな情報提供を行った。
送付時期：5月、7月、9月、11月、（奇数月に発行）
1月、3月



○ 情報提供を行うのみにとどまっているため、市町村担当職員からの意見・要望も取り込んでいきたい。

全国健康保険協会

① 定期的に連絡会議を開催し、情報共有を図る。

① 令和5年8月23日（水）
鹿児島地区行政等連絡協議会

② 機構および全国健康保険協会の業務にかかる研修会を相互に実施する。

② 双方のスケジュール調整が整わなかったため開催できなかった。

③ 全国健康保険協会と共催で年金委員功労者表彰式を開催する。

③ 健康保険委員の受賞者がいなかったため、今年度は年金委員功労者表彰式のみ開催。
※ 詳しくはP.22「ねんきん月間」および「年金の日」における
取り組みで報告

○ 厚生年金保険の適用に伴う保険証の発行や、健康保険の給付と年金の給付など、相互に関連する業務について理解を深めることは、お客様サービスの観点からも非常に重要であることから、引き続き連携強化を図る。

計画

実績

総括および課題

社会保険労務士会

① 定期的に連絡会を開催するとともに、適宜情報提供を行う。

① 定期連絡会

実施日	場 所	主な議題	参加数
4月21日	鹿児島県社会保険労務士会 会議室	SLAの状況等	2
5月24日	鹿児島県社会保険労務士会 会議室	SLAの状況等	2
6月21日	鹿児島県社会保険労務士会 会議室	SLAの状況等	2
7月25日	鹿児島県社会保険労務士会 会議室	SLAの状況等	2
8月24日	鹿児島県社会保険労務士会 会議室	SLAの状況等	2
9月12日	鹿児島県社会保険労務士会 会議室	SLAの状況等	2
10月20日	鹿児島県社会保険労務士会 会議室	SLAの状況等	2
11月20日	鹿児島県社会保険労務士会 会議室	SLAの状況等	5
12月18日	鹿児島県社会保険労務士会 会議室	SLAの状況等	2
1月23日	鹿児島県社会保険労務士会 会議室	SLAの状況等	2
2月20日	鹿児島県社会保険労務士会 会議室	SLAの状況等	2
3月19日	鹿児島県社会保険労務士会 会議室	SLAの状況等	2

※ 鹿児島地区行政等連絡協議会（令和5年8月23日）
 北薩・串木野地区行政等連絡協議会（令和5年9月7日）
 霧島地区行政等連絡協議会（令和5年9月20日）
 大隅地区行政等連絡協議会（令和5年10月12日）
 奄美地区行政等連絡協議会（令和5年10月27日）

② 会員に対する研修会を開催する。

② 研修会の開催 令和5年6月13日
 サンロイヤルホテル
 「算定事務講習会」
 「短時間労働者適用拡大」について

社会保険協会

① 社会保険協会発行の広報誌へ記事を掲載し、会員事業所への情報提供を行う。

① 奇数月に発行される社会保険協会発行の広報誌「社会保険かごしま」に記事を掲載し、情報提供を行った。

- <主な掲載記事>
- ・電子申請の推進
 - ・算定基礎届・賞与支払届提出の案内
 - ・「わたしと年金」エッセイ募集
 - ・ねんきんネットの利用促進
 - ・被用者保険の適用拡大



○ 受給開始時期の選択肢の拡大や被用者保険の適用拡大などの大きな制度改正が実施されることから、年金相談窓口の安定的運営のために社会保険労務士会と機構との更なる連携が不可欠である。
 よって、機構から年金相談窓口スキル向上のための勉強会やCS向上の情報提供を行っていく。

* SLA : サービスレベルアグリーメント
 年金相談窓口等の運営業務
 サービス品質に関する合意

○ 記事掲載による情報発信をさらに効果的なものとするため、より分かりやすく読みやすい記事となるよう工夫する。

計画

実績

総括および課題

社会保険委員会

① 社会保険委員会主催の会議に出席し、年金制度の説明や事業への協力依頼を行う。

① 日本年金機構、全国健康保険協会、社会保険協会の四者で開催。

事業	地区	場所	実施日	参加数
研修会	鹿児島北年金事務所	鹿児島サンロイヤルホテル	11月7日	118
	鹿児島南年金事務所	鹿児島サンロイヤルホテル	11月16日	135
	川内年金事務所	薩摩川内市国際交流センター	11月14日	95
		宮之城ひまわり館	2月22日	31
	加治木年金事務所	加音ホール	11月8日	67
	鹿屋年金事務所	鹿屋市文化会館	11月28日	90
	奄美大島年金事務所	奄美振興会館	11月21日	54
合計		6か所		590名

② 社会保険委員会連合会と共催で年金委員功労者表彰式を開催する。

② 令和5年11月7日に年金委員功労者表彰式を開催した。
※ 詳しくはP.22「ねんきん月間」および「年金の日」における取り組みで報告



年金協会

① 年金協会が主催するイベントに参加し、受給者へ制度周知を図る。

①年金協会主催の福祉講座において、下記7会場にて年金相談の予約、ねんきんネット、マイナポータルの利用についてチラシを配布し周知を行った。
加音ホール・谷山サザンホール・鹿屋市文化会館・宝山ホール・薩摩川内市国際交流センター・知覧文化会館・奄美市市民交流センター

○オンラインでの確定申告に必要な年金の通知書をマイナポータルで受け取れることなど、ねんきんネットの利用について更なる周知が必要。

自治体・町内会等

① 地域住民への年金制度説明会を開催する。

事務所	開催月	主な議題	対象	参加人数
鹿児島北	2月	年金制度説明	自治会	17
加治木	11月	年金制度説明	市民後見人	11
	1月	年金制度説明	民生委員	21
奄美大島	1月	年金制度説明	民生委員	30

○地域住民のニーズを的確につかみ、地域住民が容易に理解し、かつ役に立つような制度説明ができるように努める。

計画

実績

総括および課題

企業・団体等

① 企業や団体の従業員に対し、年金制度説明会を開催する。

事務所	実施月	説明内容	参加者
鹿児島北	6月	算定事務・短時間労働者適用拡大	45名
	7月	算定事務	
	11月	短時間労働者適用拡大・オンライン事業所年金情報サービス	
鹿児島南	6月	算定事務	343名
	8月	調査における指摘事項の多い事例	
	11月	短時間労働者適用拡大・オンライン事業所年金情報サービス	
	12月	オンライン事業所年金情報サービス・調査における指摘事項の多い事例	
川内	6月	算定事務	135名
	11月	短時間労働者適用拡大・オンライン事業所年金情報サービス	
加治木	5月	算定事務	127名
	11月	調査における指摘事項の多い事例・オンライン事業所年金情報サービス	
鹿屋	6月	算定事務	53名
奄美大島	6月	算定事務	82名
	11月	短時間労働者適用拡大	
合計			785名

② 企業や団体に年金に関する情報提供を行うとともに、関係者への周知を依頼する。

② 「年金相談の予約制」、「オンライン事業所年金サービス」の広報を行った。

マスメディア

① 「ねんきん月間」や「年金の日」等について、マスメディアを活用した広報を行う。

① 鹿児島県政記者クラブに対し、以下のとおりプレスリリースを行った。
 ・6月2日 令和5年度「わたしと年金」エッセイ募集
 ・10月25日 令和5年度「ねんきん月間」「年金の日」の取り組みについて

○民間企業への制度説明会開催のアプローチをさらに進めていく。

○今後も取り組みを継続するとともに、企業のニーズを的確につかみ、さらなる連携強化を図る。

○ マスメディアを活用した周知広報は、まだ十分にできていない状況にある。今後は他の地域の取り組みも参考にしながら、有効な方策を検討する。

○年金セミナー等事業

開催に向けたアプローチ

計画	実績	総括および課題
<p>① 年金セミナー等の実施に向け、教育関係機関への協力依頼を行う。</p> <p>② 中学校・高校・大学・専門学校等に対し、積極的なアプローチを行う。 また、アプローチに際しては、地域年金推進員を積極的に活用する。</p>	<p>① 鹿児島県教育庁（高校教育課、義務教育課）へ年金セミナー開催および「エッセイ」募集への協力依頼を行った。</p> <p>② 対面での年金セミナー実施が困難な学校へ、年金セミナー動画(DVD)やオンラインによる年金セミナーの開催を行った。</p> <div data-bbox="538 621 1408 1270" data-label="Image"> </div>	<p>○ 学校側のカリキュラムやニーズを十分把握するとともに、多様な年金セミナーが実施できることを積極的にアピールし、年金セミナーの推進を図る。</p> <p>○ 校長OBである地域年金推進員によるアプローチは非常に有効である。今後も連携を密に取り組みを進めていく。</p>

計画

実績

総括および課題

① 各学校の状況や要望に応じた年金セミナー等を開催する。

◎年金セミナーの開催実績は以下のとおり。

○ 若い世代に年金制度を説明するにあたり、できる限りわかりやすく確実に伝わる説明スキルの習得などについて試行錯誤していく。

事務所	学校名	実施方法	実施日	参加者数
鹿児島北	鹿児島環境・情報専門学校	対面	4月11日	36
	県立農業大学校	対面	4月12日	76
	鹿児島レディスカレッジ	対面	4月21日	62
	鹿児島純心女子短期大学	対面	5月11日	135
	赤塚学園看護専門学校	D V D	10月3日	35
	鹿児島医療技術専門学校 理学療法学科	D V D	10月6日	54
	鹿児島医療技術専門学校 作業療法学科	D V D	10月11日	18
	南九州医療事務医療秘書専門学校	D V D	10月13日	30
	鹿児島工学院専門学校	D V D	10月13日	75
	KCS鹿児島情報専門学校	対面	10月23日	142
	鹿児島医療技術専門学校 言語聴覚療法学科	D V D	11月2日	14
	鹿児島医療技術専門学校 看護学科学科	D V D	11月6日	64
	鹿児島医療技術専門学校 診療放射線技術学科	D V D	11月8日	68
	県立吹上高等学校	対面	11月8日	47
	鹿児島医療福祉専門学校 看護学科	D V D	11月9日	37
	鹿児島医療技術専門学校 介護福祉学科	D V D	11月13日	9
	志學館大学 法学部	対面	12月14日	37
	鹿児島国際大学 福祉社会学部児童学科	対面	12月18日	80
	久木田学園看護専門学校	対面	12月18日	24
	県立鹿児島南高等学校	D V D	12月25・26日	44



年金セミナー等の開催

計画

実績

総括および課題

年金セミナー等の開催

事務所	学校名	実施方法	実施日	参加者数
鹿児島北	県立屋久島高等学校	D V D	1月16日	34
	鹿児島公務員専修学校	対面	1月22日	4
	今村学園ライセンスアカデミー	D V D	1月26日	27
	県立伊集院高等学校	D V D	1月29日	61
	鹿児島情報高等学校	対面	2月8日	402
	県立明桜館高等学校	対面	2月8日	132
	市立鹿児島玉龍高等学校	対面	2月15日	193
	県立鹿児島東高等学校	対面	2月22日	30
	鹿児島中央看護専門学校	対面	2月27日	36
	鹿児島医療福祉専門学校	対面	2月28日	29
	鹿児島県美容専門学校	対面	3月5日	100
鹿児島南	県立指宿高等学校	対面	2月15日	67
	県立山川高等学校	対面	2月16日	19
	県立加世田常潤高等学校	D V D	2月20日	20
川内	鹿児島純心大学	対面	6月20日	35
	鹿児島障害者職業能力開発校	対面	9月12日	35
	県立宮之城高等技術専門学校	D V D	11月8日	27
	出水郡医師会准看護学校	D V D	11月8日	22
	県立立川薩清修館高等学校	D V D	2月1日	43
	県立野田女子高等学校	対面	2月7日	42
	県立鶴翔高等学校	対面	2月15日	56
	県立出水高等学校	D V D	2月16日	69
	れいめい高等学校	D V D	2月16日	70
	鹿児島障害者職業能力開発校	対面	2月16日	35
	県立宮之城高等技術専門学校	D V D	2月16日	27
	出水郡医師会准看護学校	D V D	2月16日	22
	神村学園高等部	対面	2月19日	188
	県立串木野高等学校	対面	2月21日	27
	川内看護専門学校	対面	2月26日	14



計画

実績

総括および課題

年金セミナー等の開催

事務所	学校名	実施方法	実施日	参加者数
加治木	第一工科大学	対面	4月4日	314
	鹿児島第一医療リハビリ専門学校	オンライン	8月18日	217
	第一幼児教育短期大学	対面	9月26日	42
	鹿児島工業高等専門学校	DVD	1月10日	103
	県立蒲生高等学校	対面	1月16日	62
	市立国分中央高等学校	対面	2月5日	240
	加治木看護専門学校	対面	2月10日	22
	県立隼人工業高等学校	対面	2月26日	115
	県立大口高等学校	対面	2月28日	34
鹿屋	鹿屋女子高等学校	対面	11月15日	6
	鹿屋看護専門学校	対面	12月5日	30
	県立鹿屋高等学校	対面	1月30日	42
	県立鹿屋工業高等学校	対面	2月14日	130
奄美大島	奄美看護福祉専門学校	対面	4月19日	158
	奄美看護福祉専門学校	対面	1月12日	50
	県立奄美高等学校	対面	2月8日	100
	県立喜界高等学校	オンライン	2月8日	30
	県立与論高等学校	対面	2月9日	22
	樟南第二高等学校	対面	2月15日	36
	県立大島北高等学校	DVD	2月16日	24
	県立徳之島高等学校	対面	2月22日	56
	阿室中学校	対面	2月29日	3
	与論中学校	DVD	3月15日	45



計画

実績

総括および課題

年金セミナー等の開催

<内訳> 開催校数は学科が別の場合でも学校名で同一として計上

	開催校数	参加者数	オンライン	DVD	対面
高等学校	31	2,441	1	8	22
大学・短大	7	719	0	0	7
専門学校・各種学校	28	1,626	1	14	13
中学校	2	48	0	1	1
計	68	4,834	2	23	43

地域年金推進員

① 地域年金推進員を積極的に活用し、年金セミナー開催のアプローチを行う。

① 高等学校へアプローチ（鹿児島北・鹿児島南・川内管轄）
 ・訪問：58校（8月）
 ・電話勧奨：7校（12月）

○ 年金セミナーの活性化のためには地域年金推進員の協力が極めて重要であるため、引き続き、連携を強化していく。

② 地域年金推進員との連絡会議を開催し、意見交換・情報共有を行う。

② 高等学校への年金セミナーアプローチの打合せ（8月実施）

○地域相談事業

計画		実績					総括および課題
市町村	① 遠隔地の市町村において、定期的に出張年金相談を開催する。	① 各市町村における出張年金相談の開催状況は以下のとおり。 (令和5年4月～令和6年3月)					○ 遠隔地にお住いの被保険者・受給者にとって、出張年金相談は極めて重要な相談の機会であり、多くのニーズもあることから、引き続き市町村や関係機関と連携しながら実施していく。
		事務所	開催場所	開催月(頻度)	開催数	相談人数	
		鹿児島北	日置市	毎月	12	290	
			西之表市	毎月	12	271	
			南種子町	5・8・11・12・2月	5	41	
			中種子町	5・8・11・12・2月	5	43	
			屋久島町	6・9・12・3月	4	84	
		鹿児島南	枕崎市	5・6・7・9・10・11・1・2・3月	9	66	
			指宿市	4・6・7・8・10・11・12・2・3月	9	66	
			南九州市	4・5・6・8・9・10・12・1・2月	9	63	
			南さつま市	4・5・7・8・9・11・12・1・3月	9	54	
		川内	薩摩川内市	5・7・9・11・12月	5	18	
			いちき串木野市	6・8・11・2月	4	28	
			阿久根市	毎月	12	71	
			出水市	毎月	12	241	
			さつま町	4・6・8・10・12・2月	6	39	
			長島町	4・6・8・10・12・2月	6	34	

計画

実績

総括および課題

市町村

事務所	開催場所	開催月（頻度）	開催数	相談人数
加治木	伊佐市	毎月	12	192
	湧水町	4・6・8・10・12・2月	6	29
鹿屋	曾於市	毎月	12	63
	志布志市	毎月	12	125
奄美大島	喜界町	6・9・1月	3	31
	徳之島町	4・6・8・10・12・2月	6	45
	天城町	7・11・3月	3	33
	伊仙町	5・9・1月	3	26
	和泊町	3月	1	5
	知名町	8月	1	6
	与論町	5・11月	2	11
合計	26市町		180回	1,975名

計画

実績

総括および課題

特別支援学校

- ① 特別支援学校に対し、障害年金制度にかかる制度説明会のアプローチを行う。
- ② 感染防止対策を徹底したうえで、特別支援学校での制度説明会の実施する。

- ① 例年開催している特別支援学校から依頼あり。県内の特別支援学校に対しアプローチを実施。

事務所	実施日	学校名	参加者
鹿児島北	5月19日	県立鹿児島高等養護学校	56名
鹿児島南	10月26日	県立南薩特別支援学校	28名
川内	2月27日	県立串木野特別支援学校	28名
	2月28日	県立出水特別支援学校	38名
加治木	3月1日	県立牧之原特別支援学校	21名
	3月1日	県立加治木特別支援学校	10名
奄美大島	3月8日	県立大島特別支援学校	17名
合計			198名

- 特別支援学校の生徒は、将来、障害年金を受給する可能性が高く、保護者や教職員に対する制度説明は極めて重要であるとの認識から、今後も取り組みを進める必要がある。

ハローワーク

- ① ハローワークと協力し、求職者や失業者に対する年金制度説明会および国民年金保険料免除申請にかかる相談会を開催する。

- ① ハローワークにおいて、定期的に求職者や失業者に対する年金制度説明会を開催した。あわせて、国民年金保険料免除申請にかかる相談会を開催した。
ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、資料の設置のみとなるなど、予定の回数および内容での実施ができない場合が多くあった。

- ハローワークでの説明会は、求職者や失業者からの免除申請書の獲得が効率的に行えることから、引き続き取り組んでいく。

事務所	実施月	説明内容	参加者
鹿児島北	6・12月	短時間労働者適用拡大・育児保険料免除・調査における指摘事項の多い事例	30名
鹿児島南	毎月	国民年金の加入と免除制度	523名
川内	10・2月	在職老齢年金制度	22名
加治木	12月	在職老齢年金制度	18名
鹿屋	毎月	国民年金制度	940名
奄美大島	毎月	国民年金制度	624名
合計			3,157名

○年金委員活動支援事業

年金委員

計画

実績

総括および課題

- ① 定期的な研修会・意見交換会を開催する。

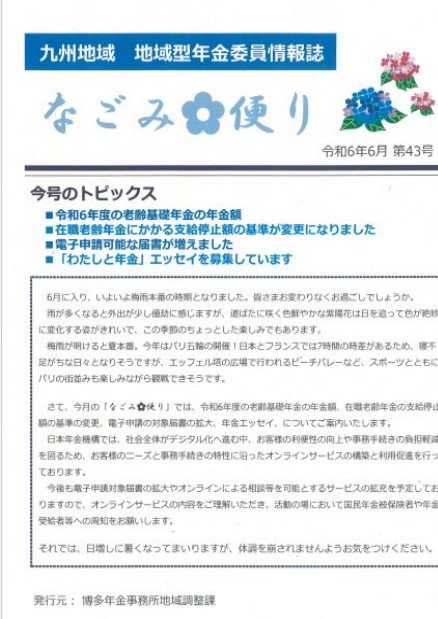
事務所	年金委員	開催月	説明内容	参加者
鹿児島北	職域	5月 7月	電子申請の申請方法 調査における指摘事項の多い事例	36名
	地域	6月 11月	年金額改定 年金相談の予約	21名
鹿児島南	職域	5月	調査における指摘事項の多い事例	59名
	地域	8月 2月	老齢年金、短時間労働者適用拡大 制度説明・オンラインサービス	58名 42名
川内	職域	9月	事務手続き	10名
	地域	6月 11月	オンラインサービス利用 ねんきんネット	12名
加治木	職域	5月	電子申請	15名
	地域	6月 11月	ねんきんネット	9名
鹿屋	職域	6月 11月	調査における指摘事項の多い事例 年金制度改正および在職老齢年金	127名
	地域	6月 11月	年金相談の予約 ねんきんネット	8名
奄美大島	職域	4月・10月 6月	調査における指摘事項の多い事例 短時間労働者適用拡大	44名
	地域	6月・11月	年金制度説明	15名
合計				456名

- ② 各種情報提供および制度周知の協力依頼を適時行う。

- ② 新たな制度等に関するリーフレットを定期的に送付し、地域での周知・広報の協力依頼を行った。
また、年金委員活動の推進・サポートを目的に、都道府県単位の「地域型年金委員連絡会」および年金事務所単位の「地区連絡会」をそれぞれ設置し研修を行った。

地域型年金委員に対しては、偶数月に情報誌「なごみ便り」を送付し、情報提供を行った。

- 年金委員の活動は、職場や地域における制度周知に欠かせないことから、今後もしっかりとその活動をサポートする。
- 地域型年金委員の組織的活動を活性化するため、都道府県単位の「地域型年金委員連絡会」をオンラインにて2回開催した。



九州地域 地域型年金委員情報誌

なごみ便り

令和6年6月 第43号

今号のトピックス

- 令和6年度の老齢基礎年金の年金額
- 在職老齢年金にかかる支給停止額の基準が変更になりました
- 電子申請可能な届書が増えました
- 【わたしと年金】エッセイを募集しています

6月に入り、いよいよ梅雨本番の時期となりました。皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。雨が多くなると外出が少し減りますが、運ばたくて新鮮やかな葉菜類は日を追って色が艶やかに変化するのが好きで、この季節のちよとした楽しみでもあります。

梅雨明けと夏本番。今年も「りく五輪の開催！日本とフランスでは7時間の時差があるため、履き慣れない日々となりそうですが、エッフェル塔の広場で行われるビーチバレーなど、スポーツとともにバリの街並みも楽しみながら観戦できそうです。

さて、今月の「タイム☆便り」では、令和6年度の老齢基礎年金の年金額、在職老齢年金の支給停止額の基準の変更、電子申請の対象届書の拡大、年金エッセイ、についてご案内いたします。

日本年金機構では、社会全体がデジタル化へ進む中、お客様の利便性の向上や事務手続きの負担軽減を図るため、お客様のニーズと事務手続きの特性に沿ったオンラインサービスの構築と利用促進を行っています。

今後も電子申請対象届書の拡大やオンラインによる相談等を可能とするサービスの拡充を予定しておりますので、オンラインサービスの内容をご理解いただき、活動の場において国民年金保険者や年金受給者等への周知をお願いします。

それでは、日増しに暑くなってまいりますが、体調を崩されませぬようお気を付けてください。

発行元：博多年金事務所地域調整課 1

計画

実績

総括および課題

③ 年金委員の委嘱拡大に向け、事業所や関係機関に対しアプローチを行う。

③ 職域型年金委員数の推移（令和5年3月～令和6年3月）

○ 令和5年度は、被保険者が50名以上在籍する事業所を主に委嘱拡大を取り組んだ。

		令和5年 3月 末	令和5年 4 月	令和5年 5 月	令和5年 6 月	令和5年 7 月	令和5年 8 月	令和5年 9 月	令和5年 10月	令和5年 11月	令和5年 12月	令和6年 1 月	令和6年 2 月	令和6年 3 月
鹿児島南	現存数	576	579	579	586	590	591	592	592	592	595	595	598	599
	令和5年3月との比較													+23
鹿児島北	現存数	366	366	366	380	383	383	383	381	383	388	388	388	388
	令和5年3月との比較													+22
川 内	現存数	368	368	366	366	370	370	370	373	373	373	372	372	372
	令和5年3月との比較													+4
加治木	現存数	205	205	205	205	206	206	207	210	211	211	213	214	213
	令和5年3月との比較													+8
鹿 屋	現存数	441	441	441	440	441	441	441	443	442	442	442	441	441
	令和5年3月との比較													±0
奄美大島	現存数	209	209	209	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210
	令和5年3月との比較													+1
計	現存数	2,165	2,168	2,166	2,187	2,200	2,201	2,203	2,209	2,211	2,219	2,220	2,223	2,223
	令和5年3月との比較													+58

④ 年金委員功労者表彰式を開催する

④ 11月7日に開催した。
※詳細はP.22「ねんきん月間」および「年金の日」における取り組みに記載。

年金委員

計画

実績

総括および課題

③ 年金委員の委嘱拡大に向け、事業所や関係機関に対しアプローチを行う。

③ 地域型年金委員数の推移（令和5年3月～令和6年3月）

○ 年金委員の属性やキャリアが様々であるため、年金委員に対する必要な支援として、定期的な研修や意見交換会等が必要である。

年金委員

		令和5年 3月 末	令和5年 4月	令和5年 5月	令和5年 6月	令和5年 7月	令和5年 8月	令和5年 9月	令和5年 10月	令和5年 11月	令和5年 12月	令和6年 1月	令和6年 2月	令和6年 3月
鹿児島南	現存数	177	176	176	178	178	178	173	169	169	169	169	169	170
	令和5年3月との比較													-7
鹿児島北	現存数	47	49	49	49	49	49	49	49	50	50	50	49	50
	令和5年3月との比較													+3
川内	現存数	23	23	21	22	22	23	23	23	23	23	24	24	24
	令和5年3月との比較													+1
加治木	現存数	15	15	15	15	15	15	15	16	16	17	17	17	16
	令和5年3月との比較													+1
鹿屋	現存数	11	12	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	13
	令和5年3月との比較													+2
奄美大島	現存数	22	22	22	22	22	23	23	23	23	23	24	24	24
	令和5年3月との比較													+2
計	現存数	295	297	295	298	298	300	295	293	294	295	297	296	297
	令和5年3月との比較													+2

○ 「ねんきん月間」 および 「年金の日」 における取り組み

計画	実績	総括および課題
<p>年金委員表彰式</p> <p>① 年金委員功労者表彰伝達式を開催する。</p>	<p>① 令和5年11月7日 鹿児島サンロイヤルホテルにて開催。</p> <p>表彰伝達式は、鹿児島県社会保険委員会と鹿児島県社会保険協会の共催で行われた。</p> <p>職域型年金委員の表彰者数 厚生労働大臣・・・1名 理事長表彰・・・1名 理事表彰・・・4名</p> <p>地域型年金委員の表彰 理事表彰・・・2名</p>	<p>○ 関係者のみの表彰伝達式とした。</p>  <p>※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。</p>
<p>各拠点の取り組み</p> <p>① 各拠点において、公的年金制度を積極的にPRするための独自の取り組みを実施する。</p> 	<p>① 「ねんきん月間」における出張相談所の開設</p> <p>市町村、年金委員にポスター・リーフレットを送付し、「ねんきん月間」「年金の日」にかかる取り組みについての周知・広報の協力依頼を行った。</p>	<p>○ 今年度は県内合同開催による商業施設での年金相談会やチラシ配布を中止。集客方法について、今後周知方法など検討が必要。</p> <p>○ 広く国民の皆様には年金制度を知っていただく大切な機会であることから、より工夫を凝らした取り組みを検討する。</p>

① 「わたしと年金」エッセイ募集に係る広報・アプローチを積極的に行う。

① 関係機関に広報等行い、今年度は下記の高校から応募があった。
 ・ 県立沖永良部高校…1名
 ・ 鹿屋市立鹿屋女子高校…2名

「わたしと年金」エッセイ

令和5年度入賞作品

日本年金機構理事長賞 埼玉県 小林 佳歩 様 (高校生)

「マイナンバーは、年金を必要とする方にとって頼もしい味方になってくれます！」
 この言葉は、知り合いの社会保険労務士の方から聞いた言葉で、私の印象に残っています。

私の祖母は2人も年金を受給して生活していましたが、昨年4月に大好きだった祖父が他界しました。体調に異変を感じ、病院に行くと癌が発覚してからわずか三週間でした。幼いころからずっと一緒だった祖父の死を信じることができず、とても辛かったです。残された祖母はずっと専業主婦だったので、国民年金から老齢基礎年金を受給していました。約40年仕事をしてきた祖父の年金が無くなってしまったら、祖母の生活が成り立たなくなってしまうのではないかと、私たち親族は心配していました。年金の手続きがよく分からなかったこともあり、社会保険労務士という方をお願いして年金の手続きを依頼することになったのですが、そこで初めて私は、祖父の年金が遺族厚生年金となって祖母が受給できるということを知りました。年金というと、高齢者が今まで支払ってきた保険料をもとに受け取る老齢年金しかイメージがありませんでしたが、老後の生活の柱であった祖父が亡くなった時に、祖父の年金の一部を遺族年金として祖母が受け取れるようになることを知り、年金制度は良くできているのだと感心しました。

同時に、大好きな祖父のために、何か私にできることはないのだろうかと思いました。そこで私は、社会保険労務士の方に手続きをお願いするにあたり、「祖父の年金の手続きについて、何か私にできることはないでしょうか?」と聞いてみたところ、年金請求書類作成のお手伝いをする事になり、また、実際に請求する際も一緒に連れていっていただくことになりました。請求書類を準備する中、添付する書類が必要となり、今回、戸籍簿本という書類を取り寄せることになりました。社会保険労務士の方は、「以前は、住民票や住民票除票、課税証明書等、たくさんの書類を添付しなければならず、書類取り寄せが大変でした。しかし今は、マイナンバーの利用によって、大部分の添付書類が省略できるようになってきたのですよ!」とお話してくれました。今後、戸籍簿本についてもマイナンバー利用が可能になるとのことで、年金を必要とする方にとって益々便利にな

令和5年度入賞作品

っていくのだと感じました。実際に請求するため、街角の年金相談センターという場所へ同行しましたが、当時中学3年生だった私にも相談員さんがとても優しく接してくださり、安心して一緒に請求することができました。そして、この手続きが無事に完了したことで、現在、祖母は老齢基礎年金に加えて遺族厚生年金を受給し安心して生活できています。

そして、今回の祖母の年金請求がきっかけとなり、依頼した社会保険労務士の方と請求後も定期的にお会いし、年金制度のお話はもちろん現在話題となっている様々な社会問題についてもお話をさせていただいています。その中でも、障害年金は、障害者の方が直接請求するのは非常に大変で医療機関からの書類の取得、ご自身の今までの状況を書類にする等、本人が直接請求するのにハードルが少し高いということを知りました。例えば、もしマイナンバーが医療機関の情報とも連携し、医療機関の書類が省略できるような環境が整えば、障害者の方にとっても年金を請求しやすい世の中になるのではないかと、マイナンバーの可能性を感じています。

老齢年金だけでなく、遺族年金、障害年金と、人生の大きなターニングポイントに差し掛かった際、誰一人取り残すことなく安心して生活していくために社会保障として成立している大切な年金制度。昨今、マイナンバーの取扱いについては賛否両論ありますが、個人情報管理に関する問題と、個人情報の効果的な使い方に関する問題は別個で取り扱うべきではないかと思えます。是非、年金を必要とする方全員にとって良い方向へとマイナンバーが導いてくれたら嬉しいです。

高校生となった私は今、将来どのような大人になりたいのか、少しずつ考え始めています。まだまだ漠然としています。が、仕事を通じて、何か社会の役に立てる人間になりたいという気持ちが強くなりました。どのような仕事を通じて私自身が社会の役に立てるのか、是非、大学へ進学して幅広く社会問題を学習し、私自身の将来に繋げていきたいと思えます。もしかしら、大切な祖母の生活を守ってくれた「年金」に携わる仕事も!?

○ 地域年金推進員と連携し、夏休みの宿題等として、より多数の募集となるよう、入選作品集の送付など、引き続き広報活動に力を入れる。

○ 「わたしと年金」エッセイ入選作品集は、全世代に年金制度の大切さを知ってもらうための有効なツールとなることから、年金制度の周知広報活動に活用していく。



世代を超える。
 今だからこそ、伝えたい。

「わたしと年金」
 エッセイ
 募集中

賞
 ・ 厚生労働大臣賞
 ・ 日本年金機構理事長賞
 ・ 優秀賞
 ・ 入選

応募締切
 令和4年9月9日(金)

詳しくは、日本年金機構ホームページをご覧ください。
www.nippon-kaikin.go.jp

令和4年度 わたしと年金 検索

主催: 日本年金機構 後援: 厚生労働省 全国高等学校校長協会 文部科学省 京都府 全国都道府県教育委員会連合会

○地域年金事業運営調整会議

	計画	実績	総括および課題
運営調整会議	<p>① 地域年金事業運営調整会議を年2回開催し、取り組み状況を報告する。</p>	<p>① 令和5年7月、令和6年3月・・・開催</p> <p><主な議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施結果報告 ・次年度事業計画(案)  <p>※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。</p>	<p>○ 委員の皆様のご意見をしっかりと事業に反映できるような仕組みを構築していく。</p>
委員への情報提供	<p>① 地域年金事業運営調整会議委員に対し、年金制度や事業に関する情報提供を行う。</p>	<p>① 地域年金事業運営調整会議委員に、「ねんきん月間」や「年金の日」にかかるポスター・リーフレットを送付し、各種取り組みへの協力依頼を行った。</p>	
提言への対応	<p>① これまでいただいた会議における提言を取り組みに反映させる。</p>	<p>① いただいた主なご意見について、引き続き検討を進めより効果的な取り組みや新たな観点からの施策につなげていく。</p>	

3. 令和6年度事業計画

令和6年度 重点取り組み事項

年金制度を実務にし、確実な適用・徴収、正確な給付等の基幹業務に安定的かつ着実に取り組み、国民生活の安定を支え続けることが、日本年金機構に与えられたミッションです。

この当機構に与えられたミッションの実現に向け、お客様から信頼される続ける組織であるため、組織一丸となって、基幹業務の実績について更なる高みを目指します。

上記を達成するため、以下の4点を、鹿児島県の地域年金展開事業における「令和6年度重点取り組み事項」に位置づけます。

【令和6年度重点取り組み事項】

1. 市町村や関係機関との連携強化を図り、公的年金制度の周知・理解を促進する。
2. 年金セミナー、年金制度説明会等を促進し質の向上を図る。
3. 年金委員活動の活性化およびサポート体制の更なる強化を図るとともに、委嘱拡大を進める。
4. 個人向けオンラインサービス（マイナポータル・ねんきんネット）の利用促進を図る。

(1) 市町村、自治会、事業所、関係機関との協力連携

市町村、自治会、事業所、関係機関等と協力連携し、公的年金制度の周知・広報の充実および国民年金保険料の納付率向上を図る。

1. 関係機関・関係団体との連携による周知・啓発
 - ・市町村、ハローワーク、税務署等に、窓口での年金制度に関するポスターの掲示およびリーフレットの設置を依頼し、地域住民への情報提供の充実を図る。
 - ・関係機関の会議や研修会に参加し、年金制度や事業に関する情報提供を行う。
2. 市町村広報誌等による周知・啓発
 - ・市町村広報紙等を活用し、出張年金相談の日程や年金制度に関する情報提供を行う。
 - ・社会保険協会発行の広報誌に事務手続きに関する記事等を掲載する。
3. 年金制度説明会の開催
 - ・地域住民および企業や団体の従業員を対象とした年金制度説明会を積極的に開催する。
 - ・開催にあたっては、オンライン等を活用し、対面型と非対面型の両立を図る。
4. 関係機関・関係団体との連携強化
 - ・市町村担当者への研修や事務打合せ会を定期的で開催する。
 - ・市町村担当者向け情報誌「かけはし」を年6回（奇数月）送付し、情報提供を行う。
 - ・関係機関のニーズを十分聞き取り、効果的な情報提供・制度説明会を実施する。

(2) 地域・企業における相談事業等

地域住民のニーズに応えるとともに年金制度への理解を深めていただくため、各地域や企業に出向き出張相談および制度説明会を実施する。

1. 市町村等における出張年金相談の実施
 - ・年金事務所から遠隔地の市町村に赴き、定期的に出張年金相談を開催する。
2. ハローワークでの雇用保険受給者説明会にあわせた制度説明会や国民年金保険料免除申請にかかる相談会等の開催
3. 「ねんきん月間」を活用し、多様な方法により公的年金制度の周知・広報を実施
4. 企業や団体の従業員等に対する年金制度説明会の開催
 - ・企業や団体等に対する制度説明会を通じて、電子申請やねんきんネット、制度改正事項等について、広く周知・広報する。
 - ・開催にあたっては、対面型と非対面型の両立を図る。

(3) 教育機関を対象とした年金セミナー事業

中学生や高校生、大学生等の若い世代を対象に、公的年金の大切さを知り、制度への理解を深めていただくため、多様な年金セミナーを積極的に実施するとともに、効果的なアプローチを検討・実施する。

1. 年金セミナー開催に向けたアプローチ

- 教育関係機関に対し、中学校や高校での年金セミナー開催に向けた協力依頼を行う。
- 中学校、高校、大学、専門学校等に対し、リーフレットや厚生労働省YouTube視聴用URLの送付等のアプローチを行う。

2. オンラインを活用した年金セミナーの推進

- 対面または非対面でのセミナーの他、セミナー動画（DVD）や厚生労働省YouTubeの視聴など、各学校のニーズや環境に応じたセミナーを開催する。
- 実施後のアンケートや先生方のご意見をもとに、適宜、実施方法や教材の見直しを図る。
- セミナー講師育成のため、機構職員に対する研修を充実させる。

3. 地域年金推進員の活用

- 地域年金推進員が高校、大学、専門学校等を訪問し、リーフレットを活用した説明および年金セミナー開催のアプローチを行う。
- 地域年金推進員との連絡会議を開催し、意見交換・情報共有を行う。

4. 特別支援学校等における障害年金制度説明会の開催

- 特別支援学校の要請に応じ、教職員や保護者に対し障害年金制度に関する制度説明会を開催する。

(4) 年金委員活動の活性化・委嘱拡大

年金委員は、地域や職場での制度周知・理解の促進に欠かせない存在であり、国民年金の納付率向上、無年金者・低年金者の防止に貢献していただく、いわば「地域や職場における機構職員」である。

年金制度に関する研修会や情報提供を充実させることにより、年金委員活動の活性化とサポート体制の強化を図るとともに、年金委員の意義・やりがいをしっかりアピールし、委嘱拡大に取り組む。

1. 定期的な研修会・意見交換会の開催

- 厚生労働省からの通知に基づき、制度改正事項や重点協力依頼事項を中心とした研修会・意見交換会を開催する。

2. 積極的な情報提供および制度周知への協力依頼

- 「年金委員活動のてびき」や情報誌「なごみ便り」を送付し活動を支援する。
- 各種啓発資料（退職後の年金手続きガイド、アニュアルレポート等）を送付するなど、積極的に情報提供を行う。
- 地域型年金委員および職域型年金委員と連携し、地域住民および企業の従業員への制度周知や情報提供を行い、併せて個人向けオンラインサービス（マイナポータル・ねんきんネット）の利用促進を図る。

3. 委嘱数拡大に向けた取り組み

- 職域型年金委員については、年金委員未設置事業所に推薦依頼文書を送付する。
- 定年退職等による職域型年金委員の辞退者の際には、後任の推薦依頼を丁寧かつ確実にを行う。
- 地域型年金委員については、推薦母体となる関係団体に対し、積極的に推薦依頼を行う。

(5) 個人向けオンラインサービスの利用促進について

ネットチャネルの拡大による住民および企業の従業員の利便性の向上のため、年金事務所における窓口対応や年金セミナー開催時等の経常業務の一環として、お客様に接触する機会を活用した利用促進を実施する。

(6) 「ねんきん月間」および「年金の日」における取り組み

11月の「ねんきん月間」や11月30日の「年金の日」において、各年金事務所が公的年金制度の普及・啓発活動を積極的に実施する。

1. 年金委員功労者表彰式の開催
2. 各年金事務所における公的年金制度の普及・啓発活動の実施
3. 「わたしと年金」エッセイ募集
 - ・教育機関や関係団体に対し広報およびアプローチを積極的に行い、応募数の増加を図るとともに、応募のあった教育機関に対し感謝状を贈呈するなど、次回応募に向けての取り組みを図る。

(7) 地域年金事業運営調整会議

地域、教育機関、企業の中での年金制度の周知・理解・支援のネットワークの強化並びに地域年金展開事業の推進を図るため、地域年金事業運営調整会議を開催する。